

令和6年度都立松が谷高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
英語	4技能の統合、特に「話すこと」「書くこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年、学期に1回以上のパフォーマンステストの実施 ・パラグラフライティング及びサマリーライティングの継続的指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライティングの取り組みを評価するルーブリックの開発・活用 ・1・2学年における英語スピーチ発表会の実施
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・言語文化への理解と論理的に考え理解する力を醸成させる。 ・長期休業に読書レポート等読書課題を実施する。 ・毎時間の小テストで基礎学力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生書評合戦への参加と校内予選を実施する。 ・単元ごとにグループワークを実施する。自分の考えを的確に表現したり、他者の意見に共感したりする中で伝え合う能力を育成する。
地歴・公民	「自ら探求し課題解決を図る」能力を引き出す指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・正確に把握した社会事象から課題を探る小論文課題の実施。 ・GMARCHレベルの記述入試問題の分析。 	<p>歴史・地理・公民等、各学会研究会の成果を利用し最新の知見・成果を授業に取り入れていく。</p>
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動とその評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事象や演習問題のパターンを扱い、学習の過程において、本質的な知識・技能を習得できる教材を活用する。 ・3観点に基づき、生徒の実態にあった適切な評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい入試に対応する力を身に付けさせる授業や講習の実施、および評価問題の工夫。 ・自らの進路に合わせた探究活動に数学的思考力を活用する。
理科	「主体的・対話的な学び」の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中でグループなどで対話をする場面を設定する。 ・大学入学共通テストの問題分析会を実施し、主体的・対話的な学びの実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の過程」を踏まえた観察・実験の実施。 ・実験や実習を通じて、仮説の立て方や、データの取り扱い、実験の設計や結果の解釈を学習する。
情報	「問題発見・解決」につなげる知識と技能の体系的な習得	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器を幅広く活用した授業の展開 ・日常生活においても一人1台端末を活用し学習できるような環境整備と指導 ・データを活用することで問題の発見・解決をする活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学共通テスト及び個別学力検査を意識した指導の充実 ・協働的な活動を通じて他者の考えを取り入れていくなかで問題の発見・解決をし、グローバルな視点で社会の変化に対応できる力を身に付けさせる